

平成30年度 ソフィアだより 10月号

充実の秋

子どもの頬を、木の実と共に紅く熟させましょう
子どものからだを、秋の自然のように肥えさせましょう
ノ ニモ ヤマ ニモ
そのどこへも。子どもを連れて出て。
そして秋を一層朗らかに充実させましょう
子どもの心とからだに満ちあふれている充実をもって
倉橋惣三

高い空、澄んだ空気、赤や黄色のはっぱ、子どもたちの声、笑顔、秋の幸せな光景。

子どもたちとともに、おだやかな自然の中で遊びたい10月です。

2年後、小学校では『英語』の授業が始まります。「プログラミング教育」も始まります。大学の入試内容も変化していきます。過去問を制覇するだけでは、「さくらさく」にはならないようです。思考力、判断力、表現力、学びに向かう力、人間性などを大学入試内容に取り入れていくようです。今日明日では作れないかと・・・

オリンピックも開催され、さまざまな国の方が日本にきて、交流を目の当たりにする子どもたち。その反面、国と国が力比べをする世界。

子どもたちは今急激に変化する時代に生き抜いていく力を求められています。

ソフィアの各園で今年度から造形研修を行っています。講師は、キットパスインストラクターの渡辺志穂里先生です。講義を受けた先生たちの感想に「時間を忘れて描いてしまった」「自分が楽しめた」と話しています。大人が楽しいと感じたことは、きっと子どもによりよく伝えてくれると思います。渡辺先生は、「子どもには真剣な大人の姿はみせてあげたいけど深刻な姿はみせたくはない」「肯定的に生きる大人の中で育った子は幸せだと思う」と話されていました。悲観主義は感情のままですが、楽観主義は意志の力です。こどもは大人をよくみています。大人のことばに耳を傾けています。子どもがよりよく育つことは、まず大人の毎日が心豊かに生きていくものではなりません。とはいえ、いらいらすることも泣きたくなる時もありますよね。過ちをしたら、こどもに「ごめんね」を言いましょう。おいしいものを食べたら「一緒に食べれておいしいね」と言葉で話しましょう。楽しいものを見たら「楽しいね」と言葉にしましょう。どうぞ、心を楽観的にもって毎日をごってください。まず大人の毎日が楽しいものでありますように。子どもたちはわたしたちをみて育つのですから。

ソフィア東生駒こども園
園長 中畑直実